（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十八年九月二十六日（日曜日）　臺灣日日新報　第一万五千六百五十號　（一）

夕刊

臺灣新報

九月二十五日

熱願・徹兵制に感謝

一齊に國民大會

榮光の日日差し總進軍

ああ！われら、水漬き、草蒸す屍の純忠、ひたむきに熱願し來たつたこの徹兵制、熱涙ただ滂沱とわれ泣きて遙かにおろがみ奉り聖慮の氣に身も縮み慶る、本島同胞に、同胞に……ああこの語、皇國大愛の懐に育まれ來たつたわれら、いま更の如く同胞の語に、同胞の名に、わが胸ただ喜悦に燃ゆるつはものとなるの道、それは單なる義務の道ではなく、況して權利への道でもない、二に死生を超えての演練への道であり、大君の邊に、祖國彌榮の庭に榮光の屍を横たへびようこびに生くる皇國男兒至上の大道である、それゆえ、ここにも昭和二十年の徴兵制施行を目指して、全臺各地に於いて、熱烈なる感謝行事はまさに最高調、神社社頭にくり展げられを感謝奉告祭、そして午前十時、一齊に開かれた感謝國民大會にわれら六百五十萬の誓ひはいよ〳〵固く進めよ！行かう、けふよりは大いなる目標、徴兵制實施の榮光の日めざし進發するのみである。

皇民錬成に徹せよ

長谷川皇奉總裁告辭

要旨

【東京發】陸軍省發表（九月二十五日）本日左の通り發令せられたり

陸軍中將　河野悦次郎

補東部軍司令部附

陸軍中將　河野中將親補

【東京發】陸軍省發表（九月二十五日）本日左の通り發令せられたり

陸軍中將　河野悦次郎

補東部軍司令部附

陸軍中將　河野中將親補

京都師團長に

河野中將親補

【東京發】陸軍省發表（九月二十五日）本日左の通り發令せられたり

陸軍中將　河野悦次郎

補東部軍司令部附

陸軍中將　河野中將親補

印度の食糧危機

アメリー、無爲を暴露

【スポンベイ二十三日發同盟】インド駐在ベンゴール州知事ケースは、ベンゴール州における食糧の缺乏は、同州人口の一割に當る四百萬人の死亡を意味するものであると言明した。

【スポンベイ二十三日發同盟】インド駐在ベンゴール州における食糧の缺乏は、同州人口の一割に當る四百萬人の死亡を意味するものであると言明した。

比島第一回國會議員

百八名の當選愈よ決定

進む大東亞建設

高遠の大理想着々顯現

迷夢醒む伊國民

伯林着の日高大使談

外地も適切の措置

決戰體制強化に即應

神前に感謝奉告

樺太國民奉公會を

翼賛會支部に改組

ロスラーブリ

市で市街戰

東部全線に激闘

艦船二十四隻撃沈

獨潜艦濃霧働き活躍

ムッソリーニ

統帥救出に祝電

東條首相、ヒ總統に

ケファロニア

島を獨軍占領

法王廳、獨關係は良好

敵のデマを獨當局一蹴

英本土を爆撃

米太平洋電纜復旧

貝總統祝意を送る

帝亜丸、マニラへ

長沙建國爆撃

法許　製特

女性も皆働

女性生理不調による……
頭痛・肩凝
腰痛・倦怠
作業能力減退
に對して、内服よく特有の女性ホルモン作用を強力に發揮しこれらの症候を速かに治癒し作業能力の低下を防止す

強力女性ホルモン
エストロモン
製造販売元　株式會社　大阪・北白

薬ぶし分十三
ツイラモルデ
藤澤藥品工業株式會社
大阪・京東・京城・北台・海上

日本旋律集
第二輯　321
第一輯　321
三絃全奏
谷竿曲
民謡長唄
謡曲
編曲編集
發行所　株式會社クライテリオン

化膿に
ソルリゲ錠
劑シアプルス
品製妹姉ルジバルア
内之山

臺灣總督府官報
臺灣日日新報社
島内亀次郎店

歡喜の民草二萬餘
新公園に國民大會の盛儀
感謝行事二日目 島都の

島都の感謝國民大會（去る廿四日午後撮影）

（写眞左）感謝國民大會の盛儀を傳へるラヂオ放送に合せて各地に擧行された

（写眞右）港都の歌聲

燃ゆる殉國の至誠
崇高血の滲む奮闘
我等の臺灣特設勤勞團

捧げよ、盡忠報國の至誠
安藤軍司令官激勵の辭

總力、皇運を扶翼せよ
山縣警備府司令長官、激勵の辭

發揮せよ皆兵の眞諦
臺北市民代表（河村徹氏）祝辭要旨

臺北市青年團の宣誓

感謝電報文

特別放送に感激

長谷川總督に感謝の辭

武器なき戰士

けふ臺大の卒業式

臺大の卒業式

學べ！農學!!
農村、都會の動勞青少年諸君、
今や入會の最好機
農大の講義錄
秋新學期集
改訂版
農大農學講座
農大農業講義
農大拓殖講義
各全十二冊
月一回十五日發行
一年分前金
六圓
送料共
東京帝國農科大學内
農士會

のんで治せ
不治と諦めた腹病に光明
腹痛の原因が日々異なり腹痛の起る時間が日々異なり腹痛の場所が日々異なり腹痛の種類が日々異なり腹痛の性質が日々異なり腹痛の程度が日々異なり腹痛の經過が日々異なり腹痛の結果が日々異なり腹痛の治療が日々異なり腹痛の豫後が日々異なり腹痛の名稱が日々異なり腹痛の名稱が日々異なり腹痛の名稱

臺灣日日新報 昭和十八年九月二十日 日曜日 (日)

敵艦船十二隻撃沈

ニューギニア北方上陸の敵を邀撃

【東京發至急報】大本營發表(九月廿五日十五時三十分)

一、敵の一兵團は九月廿二日以來ニューギニア北方地區に上陸せり、同地附近の我が陸海軍部隊は之を邀撃し目下激戰展開中なり

二、我が陸海軍航空部隊は同方面の敵輸送艦船及びフインシハーヘン北方地區に上陸中の敵を攻撃中にして九月廿一日より同廿三日迄の戰果次の如し

(イ)敵に與へたる損害 巡洋艦三隻、驅逐艦二隻、大型輸送船一隻撃沈、巡洋艦二隻、小型輸送船二隻炎上、巡洋艦二隻至近彈に依り撃破、飛行機廿二機(內不確實八機)撃墜、上陸地點を爆撃し五箇所炎上

(ロ)我が方の損害 自爆未歸還十六機

敵の揚陸作戰致命的

自滅の時期刻々迫る

【東京發】ニューギニア方面における敵の攻勢は北部ソロモンにおける敵の反攻と相俟つて連日熾烈を加へつゝあるが、その重點は北部ソロモンに對する

社說　國內體制化は迅速に

政府は臨時閣議の決定に基き國內體制の強化を期し、國內諸般の態勢に一段の飛躍的強化を加へ、決戰態勢を確立するとともに、國民生活の安定確保を期するため、新に軍需省を設置することとなつた。

國內體制の強化を必要とする情勢は、いまや國民の眼前に迫る緊迫な情勢となつて展開して居る。對米英戰を戰ひ、東亞の新秩序建設の聖業を完遂するが如きは、生やさしいことではない。時局は一朝一夕にして解決し得るものではない。

國內體制の強化を必要とする情勢は、いまや國民の眼前に迫る緊迫な情勢となつて展開して居る。對米英戰を戰ひ、東亞の新秩序建設の聖業を完遂するが如きは、生やさしいことではない。時局は一朝一夕にして解決し得るものではない。

從來とても國內體制の強化に關しては、數次に亘つて、その強化刷新を圖つて來たが、若しそれにその實行の程度が、なほ不充分であつたとするならば、それは國內體制の強化を必要とする情勢は、未だ眞に國民の眼前に迫つて居なかつたからである

御内帑金を御下賜

畏し結核豫防事業を御奨勵

皇后陛下

【皇太后陛下】畏くも靖國神社臨時大祭に際し結核豫防會長厚生大臣謹話として左の如く仰せられては結核豫防事業に對し特に御内帑金を御下賜あらせられ十月中旬より實施せらるる事業に對し深き御軫念を垂れさせ給ふ

聖恩本島人に洽く

初の合祀者廿五柱

臨時大祭

靖國神社

新合記者

一萬九千九百九十二柱

【皇太后陛下】畏くも靖國神社臨時大祭に際し陛下の御名代として高松宮殿下一條侍從武官を御差遣あらせられ國民の深い感激の裡に擧行された

徴兵制〝決定に應へ

〝決意表明常會

銀翼徴兵號〟獻納申合す

恩典を家庭に活かせ

長谷川總裁放送要旨

總てを國に捧げよ

河村臺日社長放送要旨

長谷川總督三日南下

海軍將兵に感謝

臺灣護國神社にも

永遠に合祀鎭祭

松崎護國神社社司謹話

皇恩の無邊に感泣

林熊祥氏感激して語る

軍事知識

徴兵制度の本質

我國徴兵制度解說（一）

臺灣軍報道部　竹内中佐

全臺灣青年團

國體强歩大會

貯蓄動員本部

月例幹事會

臺灣省行進曲の

歌詞募集締切延期

臺風雨災害義捐金（三十二）

航空機整備員募集

大日本航空株式會社　臺北支所

健民住宅

臺灣住宅無盡株式會社

NTN　グンリアベ洋東

大阪・東京・名古屋

二十一萬市民の誠意
行進に示す不動の決意
盛大、高雄市感謝國民大會

【高雄特電】本島出身者に對する徴兵制度實施に感謝する國民大會は豫定通り廿五日午前八時より高雄市内各地に於て擧行されたが、當日は朝來の豪雨にも拘らず、市内各地は勿論、遠く州下各地から續々と參集する者多く、午前七時頃には既に會場たる高雄驛前廣場は勿論、附近の道路は人の山を築き、定刻には實に二十萬の大群衆で埋められ、會